

2007 年度「東京経大会誌総目次」

(第 255 号～第 259 号)

◆ 第 255 号 (2007 年 10 月)

論 文

「危機の時代」におけるイタリア経済と構造再編
海外展開の選択とその後の生産性変化

堺 憲 一

——製造業とサービス業の比較——

伊 藤 由希子

「地域のヨーロッパ」の再検討 (3)

——ドイツ・ネーデルラント国境地域に即して——

渡 辺 尚

国家と市民社会の現代理論 (4)

柴 田 高 好

研究ノート

アダム・スミスと東インド会社 ——背景的考察を中心に——

安 川 隆 司

資 料

市民自治の可能性の実現をめざして

大 本 圭 野

◆ 第 256 号 (2007 年 11 月)

論 文

オランダ・ハイネケン社の取替価値会計

久木田 重 和

Health Impact of Globalization

棚 橋 啓 世

日本的経営における商品企画プロセス

柴 田 高

予算スラック形成に影響を及ぼす要因の考察

渡 邊 章 好

◆ 第 257 号 (2008 年 2 月)

論 文

コールマネーの貸借

小 島 寛

生産が規模に関して収穫一定であれば利潤はゼロ

賀 川 昭 夫

経済的シチズンシップの可能性

——揺らぎ始めたシチズンシップ——

福 士 正 博

「地域のヨーロッパ」の再検討 (4)

——ドイツ・ネーデルラント国境地域に即して——

渡 辺 尚

発展途上大都市の自動車混雑とそのマイナス要因

柴 田 徳 衛

国家と市民社会の現代理論（5）	柴田高好
資料	
“百歳への挑戦”を支えるコミュニティーの創造	大本圭野

◆ 第 258 号（2008 年 3 月）

三井大相教授退任記念号

三井大相教授近影	
三井大相教授退任記念号の発刊に寄せて	中光政
三井大相教授略歴並びに主要業績目録	
ゼミ調査からの報告——アルバイト意識調査の場合——	三井大相
コミュニケーション欲求の疎外と若者自立支援	
——「ニート」状態にある若者の実態と支援に関する調査報告書を読む——	佐藤洋作
「勉強は何のために」を考え合い、学び合う	綿貫公平

論文

『資本論』の現代化に向けて（序説）	長島誠一
業績評価における複合的指標の研究	武脇誠
株式会社の所有構造と減価償却行動	
——戦前期わが国企業の計量分析——	小野武美
知の創造を促進する人材育成——日米企業の比較分析——	植木英雄
製造後の不確実環境下でのロットスケジューリング方式に関する研究	堀泰裕
売買における価値消失と発生のタイムラグに関する考察	近藤浩之
流通機能分業構造の変化と小売業態間競争に関する考察	
——改正薬事法が与える小売業態競争への影響——	本藤貴康

講演会記録

維新経済史再考——多摩シルクロードの人々——	石井寛治
------------------------	------

◆ 第 259 号（2008 年 3 月）

今村仁司教授追悼号

今村仁司教授遺影	
今村仁司教授追悼号の発刊に寄せて	安川隆司
今村仁司教授略歴並びに主要業績目録	
故今村仁司教授の思い出	村上勝彦

論 文

アレクサンドル・コジェーヴと今村仁司	
——「プロプリエテ・ペルソネル」の問題をめぐって——	堅 田 研 一
最後のマルクス ——今村仁司『入門』を読む——	熊 野 純 彦
暴力と社会の起源を求めて ——今村仁司の切り拓いたもの——	小 林 敏 明
今村仁司と「清沢問題」	子 安 宣 邦
今村仁司氏の清沢満之研究	末 木 文 美 士
マルクスとジンメルの貨幣論	鈴 木 直
<根源>としての暴力と贈与	
——今村仁司の遺著『社会性の哲学』によせて——	高 橋 順 一
今村「時間論」と生社会コミュニティ	田 辺 繁 治
暴力論の系譜 ——今村仁司とジョルジュ・ソレル——	塚 原 史
人間存在の修羅と覚醒 ——今村社会哲学の射程——	野 家 啓 一
比較資本主義分析とは何か	山 田 鋭 夫
貨幣は価値尺度ではない	富 塚 文 太 郎
長江は第一線にして、満蒙は最後の塹壕なり	
——宮地貫道の事跡について（その1）——	村 上 勝 彦
意思決定概念再考	長 岡 克 行
今村「労働論」の今日的意味	桜 井 哲 夫
ロバート・グッディン「複合的資源自律性」に寄せて	福 士 正 博
Formation, Development, and Transformation of the Welfare State Regime in Japan	岡 本 英 男
歴史の連続を打破する意識	
——ベンヤミンにおける歴史意識の概念とヘーゲルの歴史哲学をめぐって——	麻 生 博 之
Some Reflections on Multiple, Selective and Entangled Modernities and the Importance of Endogenous Theories	三 島 憲 一

2007年度「東京経学会誌」(No.255～259) 総目次